

# FOCUS

## 追いかける。大学生。

神戸大・3年  
藤谷亮太さん

無一文で日本一周

神戸大3年の藤谷亮太さんは、昨年の2月に日本一周の旅へ。そして無事達成。それも普通の日本一周ではない。「一文無し」という信念が彼にはあった。その行動に至った原動力は何か、またどのような人か、今回の FOCUS で追った。



「自分のやりたいと思ったことをする」。このような人を世間は自由人と呼ぶ。

藤谷亮太さんは、そんな自由に見える大学生の一人。あらゆることに日々挑戦し続けている。行動の原動力は全て、「その時に、したいと思ったこと」だと本人はいう。イベントサークル Kiss の副代表を務め、キッカケサミットの個人ブース出展など、あらゆる場面で活発に活動している。そして2月には「一文無しで日本一周」を成し遂げた。

「2011年の夏に行った、1カ月間の東南アジアの旅だったという。そこで、普段とは出会わない多くの人と出会い、日本では体験出来ないような非日常がとても刺激的だった。そのことが、彼に今の生き方を考えるきっかけになった」と藤谷さんは振り返る。その当時、1週間完全に家に閉じこもり、「生きる」との概念ってなんだろう」「何をこの旅から得たのだろう」など、時間を取って考えた考えは「人は人生を楽しむために生まれてきた、未来のために『今』を我慢し続ける

# 自由に考え、自由に生きる

のはもったいない。『今』を我慢した先にある未来では、さらなる未来のために我慢がきつと繰り返される。ぼくは未来を楽しむために『今』を楽しむ。今を楽しみ続けたら「一生楽しい」と。その考えが、彼の旅好きと相まって日本一周を行う決断に至った。しかし、その旅には自分のルールが必要だと藤谷さんは考えていた。他人のルールに縛られることも、ルールも持たずに旅をすることは、何かが違うと考えたからである。

「私は、特技や趣味ということを考えてことがなかった。ただ、昔から愛嬌だけはある人と話すことは好きだった。そして東南アジアの旅で、自分があまりにも外の人・世界を知らないことに気づいた。だから、『一文無し』という条件をあえてつけた。自ずと他人本願にならざるおえない一文無しだからこそ、その分人と接する機会が増える。そこで、新たな出会い・発見がある。藤谷さんはそこに魅力を感じた。だが、時にはどうしても一文無しでは厳しい時がある。そこで「日本一周ロト」という自作の宝くじのようなものを作って資金を集めたという。旅先の人に売って、日本一周達成後に当選者に景品を渡し

た。それでも、ロトを買った人と新たな出会いがあったそうだ。中にはそのロトを通じて、今でも連絡を取り合う人もいるという。もちろん、ロトの購入者だけではない。その現地でお世話になった方、通りすがりで知り合った方など、この日本一周で本当に多くの人と出会い、多くの刺激を受けてきたという。

そして、藤谷さんはその体験を綴った本「人を好きになる本」を出版。その本は、本屋などで売られている訳ではなく、藤谷さんが直接手渡しで販売する。そこにも、人と人を繋ぐ小さな工夫が盛り込まれている。

藤谷さんの次の目標は、世界一周。特に理由はない、ただその衝動に突き動かされて、行くことを決心した。旅の途中で、手品をして多くの人を楽しませるのも、一つ小さな目標だ。また、カメラの修業も始めた。「旅先で多くの人の笑顔、心に残る風景を収めていきたい」。そう藤谷さんは語った。

(聞き手) 李憲

## UNN関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)